

次期 旭川市行財政改革推進プログラムの視点

資料 6

課題

脆弱な財政構造

増加・複雑化する行政需要

生産年齢人口減少による職員減

歳入確保

歳出抑制

施設・サービスの最適化

持続的な市政運営
市民サービス維持・向上
目指す都市像の実現

人材育成・組織改革

業務効率化 (ムリ・ムダ・ムラの排除)

働きがい改革

新技術導入, 民間活力の導入, 市民等との協働

DX (デジタル・トランスフォーメーション)

選択と集中

デザイン思考

DX（デジタル・トランスフォーメーション） … 「デジタル」の活用による「変革」

デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会 ～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～

旭川市におけるデジタルツールの活用状況

市民サービスの向上

- ・電子申請
- ・施設予約システム
- ・窓口支援システムの導入

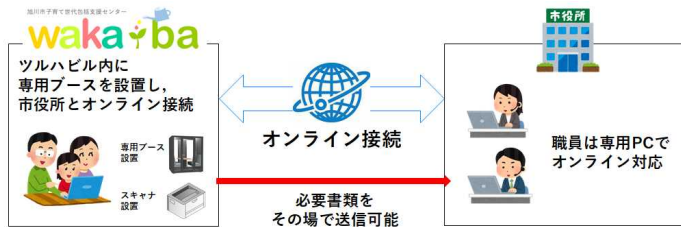


ヒアリングして職員が代行入力



電子サインでペーパーレスに！

・遠隔窓口の構築



業務効率化

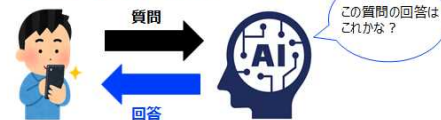
- ・AI-OCR（書類を読み取りデータ化）
- ・RPA（パソコン操作の自動化）
- ・キントーン
- ・電子決裁システム
- ・ペーパーレス会議システム
- ・チャットツールの導入



AIを活用してデジタル化を加速

機械が自ら考え、学習することで、職員の代わりに業務を行うことが可能

① AIチャットボット



- ◎ 24時間365日対応可能
- ◎ 職員の市民対応に係る負担軽減

② AI文字起こしツール



- ◎ 職員の議事録作成に係る負担軽減
- ◎ 会議内容を全て記録できる。